

1 部

学習サポート

各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

- ・学年暦→2019年度版・2020年度版 p. 4～5
- ・通信教育部カレンダー
→（3月）2019年度版 p. 28～29 （4、5月）2020年度版 p. 6～9
- ・演習・実習科目関連締切等
（社福）→2019年度版 p. 46～49 2020年度版 p. 40～43
（精保）→2019年度版 p. 50～52 2020年度版 p. 44～46

2020年4月以降の変更・留意点

- 2019年度以前入学の方は、『試験・スクーリング情報ブック2020』 p. 30～35で必ずご確認ください。

【主な変更（既報）】

- ・客観式レポートの解答が、スマートフォンやタブレットでも可能となります（本冊子 p. 34～38にも掲載）。

新型コロナウイルス感染症への対応について

3 / 3 現在、本学通信教育部では皆さんの学習機会を担保するため、スクーリングは予定通り開講しております。ただし、今後変更の可能性がございますので、最新情報をホームページ（<https://www.tfu.ac.jp/tushin/>）にてご確認ください。ホームページの閲覧ができない方はお電話にてお問い合わせください。

※併せて p. 63 もご確認ください。

ご卒業おめでとうございます

通信教育部長・教授 三浦 剛

ご卒業おめでとうございます。

仕事をもちながら、あるいは子育てや介護をしながら通信課程で学ぶには、強い意志と多くの努力が必要だったことでしょう。はたして私にはできるだろうかと自分に問うとき、皆さんのこれまでの努力に心より敬意を表します。くわえて、皆さんを支えてこられたご家族やご友人、職場の方々にも心よりお礼申し上げます。

「学ぶとは、いつでも何かが始まることで、終わることのない過程に一歩踏み込むことである。」(林竹二『学ぶということ』国土社) 教育者、教育哲学者として有名な林竹二先生のことばです。これは対話型の授業の中で、子どもたちが変わるということから、教育の意味を考え続けるなかで書かれたものです。

現代の私たちを取り巻く環境は激しく変化し、さまざまな問題に、私たちは対処しなくてはなりません。学び続けることなしに、対処することはできないでしょう。今日、大学を卒業し、新たなステップに向かわれる皆さんは、今日からまた終わることのない、学びの過程に進むのです。

また、大学では、いかに世の中が変わっても、変わらないことの学びもあったはずです。その一つは本学の建学の精神「行学一如」です。実践と研究は一体であるという意味です。一体であるということは、学んだ知識や理論は、現実の実践や経験において常に検証され、修正され、より確かなものになっていくということです。変わることのない建学の精神の中にも、実は、理論は常に検証され、修正される、すなわち学び、変わり続け

るということが示されているのではないのでしょうか。

なお、本学の教育の理念は「自利利他円満」です。これは自己の利益と他者の利益が一致して、世の中が円満になるという意味で、「ともいき（共生）」の思想といわれています。

急速にグローバル化が進み、価値観や個人の多様性が広がる今日、私たちは新しい考え方、新しい行動の仕方を探し出さなければなりません。ここでも学び続けることが求められます。個々人がそれぞれを尊重し、その存在を認め合い、持てる力を出し合って支えあう社会、いわゆる包摂社会の実現が、現代を生きるすべての人の課題であることは間違いありません。

大学での学びは、学び続けることの学びだったのではないのでしょうか。本学での学びの核となる哲学「行学一如」と「自利利他円満」を胸に、変化し続ける世の中に漕ぎ出し、常に検証し、修正を行いながら、すべての人が尊重され、多様性を認め合う新たな社会作りに取り組んでください。